

# 市民のくらしを支える市政に全力で取り組み、くらしと平和を守ります 議会活動を検討する委員会を設置へ

21日、投開票がおこなわれた沼田市議会議員選挙で大東議員は、712票（19位）で再選を果たしました。

大東議員は「市民のくらしを支える市政」への転換を求め、保育料や給食費の無料化・返済不要の奨学金制度をつくるなど子育て支援を充実させ、人口を増やすことや、高齢になって車が運転できなくなっても安心してくらしらせるよう乗合タクシーの運行、住宅リフォーム制度を復活するなど地域経済の活性化をすすめることなどを訴えました。

これからも大東議員は、「市民のくらしを支える市政」の実現、消費税増税ストップ、戦争する国づくりを食い止め、くらしと平和を守るためみなさんと力を

合わせ、全力でがんばります。

今回の選挙から移動投票がおこなわれましたが、投票率は58.52%で前回より7.23ポイント下がりました。



## 山間に春の訪れ 山妻有の桜と大平観音堂の桜が満開

沼田公園や城堀川の桜が散りはじめたころ利根町の市指定天然記念物の「山妻有の桜」



(写真上)と「大平観音堂の桜」(写真下)が満開となり、利根地域に春の訪れを告げました。



「山妻有の桜」は、根元周囲が約9畝で市内の桜では最大で、今年の台風で枝が折れ、開花が心配されましたが、きれいに花を咲かせました。

「大平観音堂の桜」は、樹齢300年以上といわれ、幹周り4.2畝の巨木です。

# こんにちは 大東のぶゆき です



「日本を戦争する国」にしようとする安倍首相の改憲策動を、力を合わせ食い止め、安倍政権を退陣に追い込む世論を広げましょう。

こんにちは。安倍首相は、一昨年の憲法記念日に、憲法9条に自衛隊を書き込むなどの明文改憲を持ち出し、昨年は、国会の憲法審査会に自民党の改憲案を提示し、改憲発議に向けた動きを加速させようと企てましたが、市民と野党の反対で失敗に終わりました。安倍首相は、今国会の冒頭、「平成の、その先の時代に向かって」という言葉を繰り返したうえで、憲法審査会での「各党の議論」を要求しました。

この発言は、天皇の代替わりの政治利用であり、首相などに求められる憲法尊重・擁護の義務も三権分立の原則も踏みにじる、許しがたい発言です。

共同通信の最近の世論調査では、安倍首相の下での改憲に「反対」が54%で、国民が望まぬ改憲を押しつけることは、立憲主義破壊の極みです。

## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その十五

### 老神温泉とみなかみ紀行

若山牧水（本名若山繁）は、明治18年（1885）に宮崎県生まれ、酒と旅をこよなく愛し、日本中を旅し、朝鮮半島にも出かけています。



「みなかみ紀行」は、大正11年（1922）10月14日に沼津の自宅を旅立ち、長野県から吾妻・利根沼田をめぐる、金精峠から湯元温泉に下り、日光から沼津にもどるまでの24日間の一部を綴ったものです。

牧水は10月24日、沼田の「青池屋」に泊まり、夜には金子刀水、植村兄弟など地元の文学青年たちが牧水を訪ね歌会が開かれたようですが、歌会といいながら酒と地元の話で閉会したのは午前1時ごろだったようです。

10月25日、牧水は片品川に沿って、老神温泉に向かい、沼田から一緒に来た生方吉次と別れる時、番傘に歌を2首、書きました。



牧水が宿泊したところの老神温泉の宿には風呂がなく、河原にわく温泉へ入りにいき、その名残は今も片品川に残っていて、橋の上から見るができます。

牧水橋のたもとには牧水の長男、旅人氏の揮毫による歌碑があります。